

J R A U D S A N H N I I

日本の「漆」 JAPAN

漆作家が競う「贅の美」
洗練された「和のデザイン」

Japanese lacquer Art Exhibition, 2019
Midorigaoka Art Museum
January 6th → March 3rd, 2019



「鶴之図飾皿」(西塚朝光作)

金、銀、朱、漆黒、虹色の貝、陶片、卵殻...は、漆を纏い、観る者、使う者を別世界へと誘う。幾重にも塗重ねられた漆と磨き抜かれた光沢。研ぎすまされた精神が削り出す究極の表現。これこそ洗練された「和のデザイン」。

漆作家が残した『贅の美』をご観賞ください。

世界最古の漆は、はるか昔、縄文時代からとされています。約12600年前から使っていた漆。土器や椀、弓や武器、櫛や腕輪など、用途は多岐にわたっています。

以来、時を経て、日本人は日常から祭祀まで、高級な美術品へと独特な感性と技法で漆製品を進化させてきました。漆のその強靱な素性、光沢は、機能性と美意識を満たすに余りありません。何度も塗り重ねられ磨き尽くされて放つ艶。

金や銀、虹色に光る貝を組み合わせた時絵、螺鈿。漆黒の艶と華やかな朱色、そして金色の煌めき。神々しいその存在は、日本人に特別な彩りを与えてきました。

この展覧会では、江戸期から現代までの漆器を個性の異なる漆作家ごとにご紹介します。それぞれの作家の想いを読みとってみてください。



Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

● 緑ヶ丘美術館・新春企画 日本のお漆展 - II

— 日本のお漆の最高峰「漆」— 2019年1月6日~3月3日まで

[開館日]: 水・木・土・日曜日 11:00~16:00 (入場は閉館の30分前まで) [休館日]: 月・火・金曜日

● 入場無料 / [会場]: 緑ヶ丘美術館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

● URL: <http://mam-museum.com> <お問い合わせは FAX で: FAX. 0743-85-7880>

JAPAN-II

Japanese lacquer Art Exhibition, 2019
Midorigaoka Art Museum
January 6th → March 3rd, 2019

日本の「漆」 JAPAN

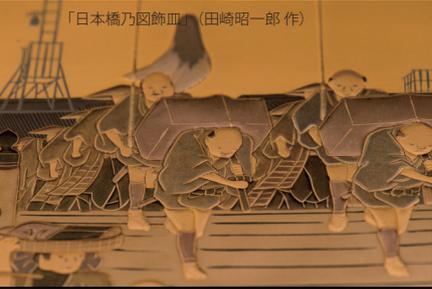
◎ 緑ヶ丘美術館・新春企画Ⅱ第二弾・「漆」展
漆作家が競う

「贅の美」

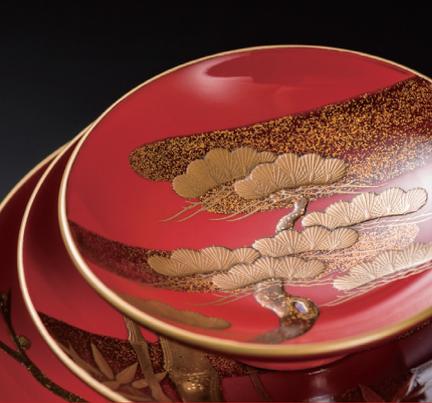
時を経て受け継がれてきた日本の美の
最高峰「漆」(うるし)。
塗る、描く、削る、埋める、貼る、盛
り上げる、磨く...など、幾重もの作業と技が
絢爛の美を生み出す。
これほどまでに洗練された美術工芸品がある
だろうか。
本展は、作家ごとに異なる超絶の美意識と
感性を心ゆくまでご堪能
していただけます。江戸期から現代まで、
用の美を展覧いたします。



「紅白梅沈金免状盆」(三谷吾一作)



「日本橋乃図飾皿」(田崎昭一郎作)



「松竹梅蒔絵御屠蘇器」(若島文史作)



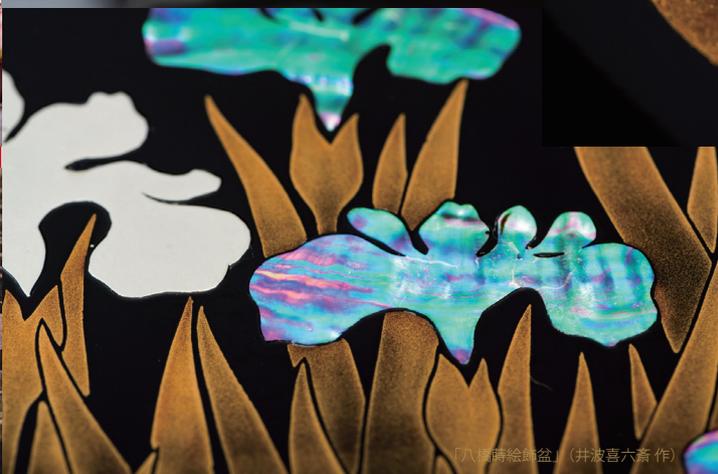
「椿蒔絵飾盆」(佐藤貞一作)



「蒔絵番雉子飾盆」(一后一兆作)



「蒔絵巖浪図飾盆」(勝田静璋作)



「八幡蒔絵飾盆」(井波喜六斎作)



「墨蒔絵御硯箱」(作者不明)



「柚子蒔絵飾盆」(天野策地作)



「客来一味蒔絵中栗」(竹園自耕作)



「秋草沈金飾盆」(前大峰作)



「花蝶蒔絵飾盆」(竹園自耕作)

MAM
Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10
URL: <http://mam-museum.com> FAX. 0743-85-7880

